

毎年、夏や秋の風物詩として、お祭りが各地で開催され、夜遅くまでお祭りを楽しまれる方も多いかと思います。先日、私の自宅の近くでも、小規模ながら長年続く地元のお祭りや花火大会が催されました。帰り道にふと夜空を見上げると、夏祭りの提灯や縁日の華やかな光とは対照的に、たくさんの星がささやかに隣っていました。

最近、アメリカの無人探査機ニューホライズンズが9年半かけて準惑星の冥王星に接近し、鮮明な画像を地球へ送ってきました。現代の科学力のすごさに驚嘆するとともに、こういった星には人類のまだ知らない新しい材料を作る元素が眠っているかもしれません。

さて、今月の特集では「高機能材料」について紹介しました。鉄道のさらなる発展に新しい材料の果たす役割や期待は大きいと感じます。青色発光ダイオードやiPS細胞のように、それまで解決困難であった課題を解決するような新しい材料が鉄道でも見つければ、将来の鉄道システムを大きく変えるかもしれません。

来月号の特集は「車両試験台」です。鉄道車両の開発に大きな貢献を果たしてきたこれまでの軌跡や新旧の車両試験台を使用した鉄道車両の研究開発などを紹介します。どうぞご期待ください。(M.M.)